

支部総会（8支部）

全国の支部活動のご紹介です。同窓生の皆様には各県支部に入会頂き、同窓生のつながりを深めて頂きたいと思っております。お問い合わせは、P 22 の支部長一覧をご参照下さい。

AKITA

秋田支部総会

秋田県支部総会は、平成 27 年 11 月 21 日、秋田市の「ルポールみずほ」において、本部より房相佑（ばんさんうー）教授を迎えて盛大に開催されました。

当日は県内各地から 23 名の出席をいただき、石川次男支部長（S 34 総農卒）の挨拶に始まり、前年度の決算報告が承認され、引き続き支部役員の変更（任期 2 年）が行われ、石川支部長が再選されました。

総会終了後、房教授から峰キャンパスと周辺の近況報告があり、在学中の美しさが今も健在な仏庭、改修で蘇った講堂、変わりゆくキャンパス周辺の町並みが紹介され、会員一同懐かしい峰ヶ丘に想いを馳せたひとときでした。

懇親会では、お互いの健康を喜び合い、宇都宮大学歌、高等農林学校校歌の大合唱で盛り上がり、来年度の再会を誓い合って散会しました。

ご協力いただきました房教授、同窓会本部事務局にお礼申し上げます。



28 年の総会は 11 月 12 日(出)に「郡山ビューホテル」で開催予定ですので、県内在住の同窓生の多くの皆さんの出席をお願いします。（事務局長 農経 S 46 卒 後藤達夫）



ISHIKAWA

石川支部総会

平成 27 年 7 月 4 日(出)、金沢駅前の金沢都ホテルにおいて会員 10 名の参加により石川の会定例会を開催しました。

榎木幹事長（昭和 43 年卒）の挨拶に続き、前年度の会計報告を行い、承認されました。引き続き、川畑会長（昭和 40 年卒）の乾杯の発声で懇親会を開催しました。各自の趣味や健康など近況報告に花が咲き、話はいつしか北陸新幹線開業が話題となり、随分と宇都宮も近くなることに一同感心することしきりでした。吉田副会長（昭和 40 年卒）の一本締めで中締めを行い、来年の参加人数増と再会を約束しお開きとなりました。

幹事 八尾 充睦（昭和 63 年卒）



HUKUSHIMA

福島県支部総会

平成 27 年 11 月 28 日(出)に福島市の「フロンティア」で 50 名が出席して福島支部の総会を開催しました。総会では、星恒徳支部長（総農 S 40 卒）が「昭和 18 年卒から平成 27 年卒まで幅広い年代の会員が出席して開催することができた。この会を契機に絆を一層深めて欲しい」と挨拶しました。また、来賓として本部から出席された理事の田村孝浩準教授（農開 H 8 卒）からは、28 年 4 月に「地域デザイン科学部」が新設されることや学内各施設の整備状況など大学の近況を紹介していただきました。

記念写真の撮影、6 名の物故者への黙祷が行われた後の懇親会は、黒沢清さん（農工 S 34 卒）の乾杯の音頭で始まり、大いに酒を酌み交わしながら、峰ヶ丘時代の思い出や互いの近況などの話題に花を咲かせ楽しいひと時を過ごしました。

恒例の「大学歌」高唱では「吾こそが若者なりと思う者は壇上へ」と呼びかけたところ、なんと須田俊雄さん（林 S 60 卒）を始め 18 名が登壇。彼らを中心に往事を懐かしみながら 4 番まで声高らかに唱い、室井潤さん（農環 H 9 卒）の中締めで盛会のうちにお開きとなりました。

SAITAMA

埼玉支部総会

去る平成 28 年 1 月 30 日(出)、さいたま市内の別所沼会館において、第 17 回峰ヶ丘同窓会埼玉支部総会を開催しました。

当日は、本部から竹永先生を来賓としてお迎えし、総勢 51 名の出席を得ての開催となりました。

総会は、沢口憲司支部長（農業開発工学科 S 47 年卒）

の開会挨拶ののち議事に移り、提出議案全てを原案通り可決するとともに、新支部長として、田村真実氏（農学科S 57年卒）を選任しました。

総会に続く懇親会では、出席者中最年長である上遠野次男氏（農学科S 25年卒）の乾杯の発声で開宴し、大いに酒を酌み交わしながら峰ヶ丘時代の思い出やお互いの近況などの話題に花を咲かせました。

また、竹永先生から、後輩たちの活躍の様子や日々変わりつつある大学内の様子などについて、スライドを使いながらご説明いただき、時の流れを感じたひと時でした。

最後に、宇都宮高等農林学校校歌と宇都宮大学歌を大合唱し、2年後の再会を約して盛会のうちに閉会しました。

幹事 木村 真司（農業開発工学科H 2年卒）



第17回 峰ヶ丘同窓会埼玉支部総会 平成28年1月30日(土)

IBARAKI

茨城支部総会

平成28年7月16日(土)に水戸市の「ホテルレイクビュー水戸」において会員45名が出席して茨城支部総会を開催しました。

菊池正蔵支部長（農学科昭和46年卒）の挨拶に続き、来賓としてお越しいただきました「雑草と里山の科学教育研究センター長」で農学部教授の小笠原勝先生（農学科昭和54年卒）から、大学の近況報告と御祝辞をいただきました。

総会では、前年度の決算を報告し、承認されました。

記念写真を撮影した後、出席した会員の中で最年長の昆野昭農先輩（農学科昭和22年卒）の乾杯の音頭で懇親会が始まり、大学時代の思い出やお互いの近況の話で大いに盛り上がり、懇親を深めるなど楽しいひとときを持つことが出来ました。

今回の開催にあたり、同窓会本部の皆様には大変お世話になりました。今後も、ご指導のほど、よろしく願いたします。

大内 正光（農業開発工学科平成3年卒）



GUNMA

群馬県支部総会

群馬県支部総会は、平成27年11月20日(金)、前橋市内において、本部より大栗行昭理事（S 58年農業経済学科院卒）を迎え、盛大に開催されました。

当日は、県内各地から会員61名の出席をいただき、嶋方徳郎副支部長（S 43年総合農学科卒）の開会、二見秀隆支部長（S 44年林学科卒）の挨拶に引き続き、来賓の大栗理事からはスライドによる大学の近況報告と御祝辞をいただきました。また、役員の変更があり、二見支部長と嶋方副支部長は再任され、萩原俊作副支部長（S 45年農業開発工学科卒）に替わり、大嶋稲良（S 51年農業開発工学科卒）さんが新たに副支部長に選任されました。

次いで、出席した中で最年長の中嶋明大先輩（S 33年農学科卒）による乾杯の発声で懇親会が始まり、大学時代の思い出話などに花を咲かせました。

途中、大沢百合奈さん（H27年農業環境工学科卒）をはじめ初参加者5名のフレッシュな自己紹介や、校歌・コチャ工節の大合唱で盛り上がり、最後に大嶋新副支部長の締めにより、来年の再会を約束し、お開きとなりました。

今年も11月に開催予定ですので、群馬県在住の同窓生の皆さん、御参加をお待ちしています。

片山 茂（S 57年農業開発工学科卒）



YAMA GATA

山形支部総会

平成28年7月9日(土)、峰ヶ丘同窓会山形支部総会が会員27名の参加により、かみのやま温泉「三木屋」で開催されました。

総会に先立ち、来賓としてお越しいただいた農学部生物資源学科の房先生に御講演を賜りました。講演はアブラナ科育種研究70年の蓄積に関する内容で、みな熱心に耳を傾け多くの質問が飛び交いました。学生時代と変わらず向学心は衰えません。先生には、地域デザイン科学部の新設をはじめ、大学運営の移り変わりなども紹介していただきました。

総会の終了後に行われた懇親会では、久しぶりに集う仲間同士、先輩・後輩の枠を超え近況報告や、学生時代の思い出話で大いに盛り上がりました。お酒が進み、会が盛り上がるにつれ「高等農学校歌」、「宇都宮大学歌ー峰ヶ丘ー」、「宇都宮大学コチャ工節」の大合唱が響き渡り、盛会のうちに終了することが出来ました。

山形支部総会は隔年で、「三木屋」での開催が恒例となっています。本部より来賓として出席いただいた教授の御講

演でタイムスリップし、なんだか少し若返れたような気がします。次回の開催では、さらに多くの会員の方に参加していただきますよう期待しています。

(農業環境工学科 平成7年卒 下山 智弘)



YAMA
NASHI

山梨支部総会 (H27)

「峰ヶ丘同窓会山梨県支部」の平成27年度総会が7月30日、午後6時から、甲府市内の料亭「割烹司」において、会員28名の出席をもって、盛大に開催されました。

総会は、山梨県森林環境部富士・東部林務環境事務所長の 大芝秀明氏(新林学27回卒)の開会挨拶に始まり、会長の山田公夫氏(旧林23回卒)のあいさつ、続いて、事務局からの26年度事業報告や27年度事業計画等の報告を行い、満場一致で承認されました。続いて、副会長である武川仁(旧林25回卒)の乾杯により祝宴に移りました。

さて、全国的な課題にもなりますが、本県の農林業は担い手の減少・高齢化、それに伴う耕作放棄地の拡大や森林所有者の経営意欲の低迷など、大きな構造的な変化に直面しています。祝宴では、このような課題の打開策の相談や日頃の悩み、心配事などに対して、同窓会の会長をはじめとする先輩の方々からの温かいアドバイスや活躍を期待する声、会場のあるところから聞こえてきました。特に今回の総会には、卒業間もない会員が多数参加しており、先輩達の声に大変感慨深い表情を見せていました。

祝宴も例年以上に盛大に進行する中でありましたが、参加者全員で来年の再会を約束して、同窓会を終了しました。

幹事 田邊幹雄(新林学31回卒)



YAMA
NASHI

山梨支部総会 (H28)

「峰ヶ丘同窓会山梨県支部」の平成28年度総会が7月21日、午後6時から、甲府市内のホテル「談露館」にお

いて、会員25名の出席をもって、盛大に開催されました。

総会は、山梨県森林環境部峡南林務環境事務所長の 田邊幹雄氏(新林学31回卒)の開会挨拶に始まり、会長の山田公夫氏(旧林23回卒)のあいさつ、続いて、事務局からの27年度事業報告や28年度事業計画等の報告を行い、満場一致で承認されました。

この総会で、来年度に山田会長が勇退され、平成29年度からの新しい会長には、武川仁副会長(旧林25回卒)が就任することとなりました。山田会長には、最高顧問として、引き続き、山梨県の同窓会の発展にご尽力をいただくこととなりました。続いて、副会長である武川仁の乾杯により祝宴に移りました。

さて、山梨県の課題は、全国と共通するものであります。「産業経済の活性化」「少子高齢化・過疎化」「防災対策」「高速交通網整備」らが挙げられますが、これらの課題に対しては、企業誘致、観光振興のほか、我々同窓会と深い関わりを持つ農林業振興などの分野でもその重要性が増しております。しかし、本県の農林業は担い手の減少・高齢化、それに伴う耕作放棄地の拡大や森林所有者の経営意欲の低迷など、大きな構造的な変化に直面しています。

一方では、2018年に予定されている中部横断自動車道の増穂から静岡区間の開通や2027年に東京～名古屋間の開通を目標としているリニア中央新幹線工事が開始されております。また、2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催され、山梨を取り巻く社会・経済情勢に大きな変化、発展へのプラスの芽があります。

祝宴では、こうした山梨の将来に向けての展望や政策課題の打開策の相談、また、日頃の悩み、心配事などに対して、同窓会の会長をはじめとする先輩の方々からの温かいアドバイスや活躍を期待する声、会場のあるところから聞こえてきました。

来年度からは、武川仁氏を新会長に迎えることとなりますが、新会長を先頭に同窓生が結束し、同窓会と会員の発展を誓い、盛大の内に同窓会を終了しました。

幹事 田邊幹雄(新林学31回卒)

